クラス	306	担当教員	松山有美
テーマ	共に生きるための保育-多文化保育の実践と課題―		
著書･論文 研究課題等	【論文】 「保育における多様性に関する一考察―保育内容「言葉」と発達に注目してー」(2020 年『日本福祉大学子ども発達学論集第』12 号)、「米国における保育の多様化に関する現状と課題(2)-メリーランド州の多文化保育と「言葉」に関する保育指導方法」(2020 年『子ども学研究論集』第 12 号)、「米国における保育の多様化に関する現状と課題(1)―ニューヨーク州の多文化保育に関わる保育ガイドラインに注目してー」(2019 年『子ども学研究論集』第 11 号) 【研究課題】 保育における多様性保障・比較保育研究（米国・スウェーデン・日本）		

ゼ ミ ナ ー ル 概 要

キーワード：多文化保育・多文化共生社会・多様性・インクルーシブ保育・ダイバーシティー

目的、内容、方法、授業計画等：

【目的】 本ゼミのテーマは、「共に生きるための保育」です。我々は、常に他者と「共生」しています。その一方で、日常生活を通して「共生していること」にどれだけ意識を向けているでしょうか。特に多様な文化的背景をもつ他者との共生は、 価値観の衝突や合意形成の困難さを感じることがあります。それゆえ、既に前提共有の出来ている集団との関わりに心地よさを感じ、それらの「困難さ」を避けていることはありませんか？ 保育の現場でもその「困難さ」を感じながら保育を行う保育者や保育を受ける子どもたちがいます。本ゼミでは、文化的多様性を背景にした「困難さ」の原理と現状を理解した上で、「共に生きるための保育」とはどのような実践かを考えていくことを目的とします。 これらを踏まえ、卒業研究につなげます。

【内容】 以上の目的を達成するために、本ゼミは、次の事項に取り組みます。 1. 多文化共生とは何かを理解する。 2. 多文化保育の実践と課題を知る 3. 「共に生きるための保育」実践への展開

【方法】 多文化保育に関する基礎知識の土台をつくる。(各自指定文献を購読し、まとめ、発表する) 各テーマにそった実践に関わる。

【授業計画等】 上記を踏まえ、学生と共に計画を練っていきたいと思います。留意点は次の通りです。 1 多文化共生に関わる文献を輪読するために事前事後学習を確保すること。2 保育現場における視察や活動等を展開します。移動手段等は実費となります。3.学外活動を優先できること、また問題意識を持って主体的に学外活動に取り組めることを求めます。

担当教員からのメッセージ

本ゼミのテーマは、「共に生きる保育」です。1 自分の「当たり前」を疑うこと、2 他者の「当たり前」に耳を傾けること、3 自分と他者との保育に関わる対話を惜しまないこと、を求めます。

多くの文献を読み、調べ、発表する学内での活動と保育の現場（保育所・幼稚園・NPO 活動など）での学外活動が発生します。2 年に渡ってゼミ活動を優先し、私とゼミ仲間と共にゼミを創り出していく意欲と熱意をもった学生を求めます。